

研究レポート No.542 岩手県農業研究センター

イチゴの低コスト、閉鎖型高設栽培システムの開発

【1 成果の要約】

- (1) 2層ハンモック構造による、低コストで排水を系外に出さない（閉鎖型）高設栽培システムを開発しました。
- (2) 本システムの特徴は、かん水を底面給水により行い、肥効調節型肥料による全量基肥施用とすることで、排水を系外に流出しないことです。
- (3) 水質を問わないため、点滴チューブの導入が難しい地域でも高設栽培の導入が可能です。
- (4) 「さちのか」の促成栽培では、肥効調節型肥料（エコロングトータル 313-180 日タイプ）を窒素成分量で株当たり 2g 表層混和することで、従来型システムと同等の収量が得られます。

【2 新システムの概要】

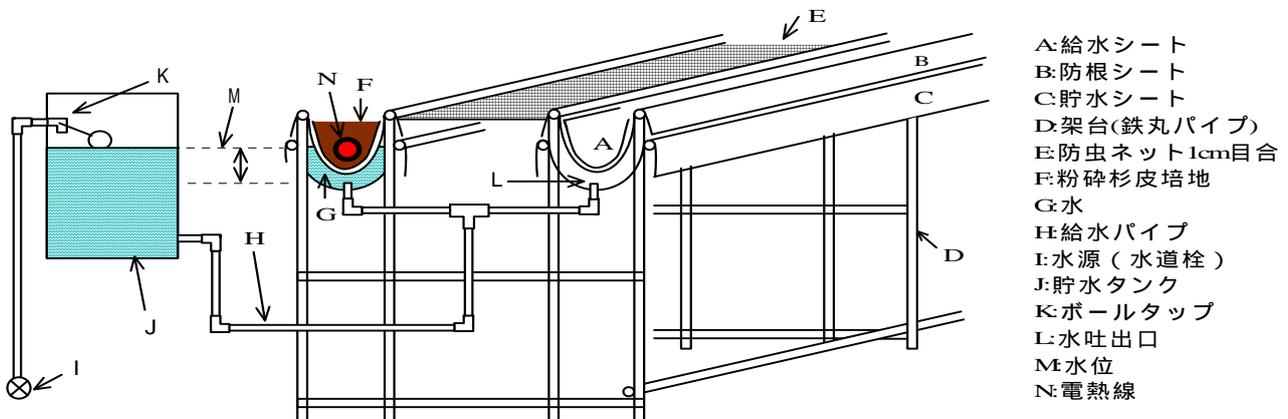
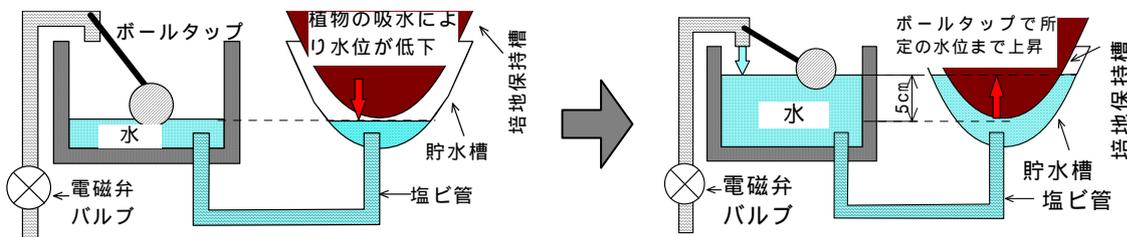


図1 2層ハンモック構造底面給液システムの模式図



電磁弁で水位が低下する間隔日数に合わせるか、手で水位が低下したらバルブを開放し給水

図2 2層ハンモック構造底面給液システムのかん水管理方法

【3 留意事項】

- (1) 特許出願中（特願 2009-78260）のため、導入を検討する際には当研究室へ問い合わせ願います。
- (2) システムの構造上、整地した圃場への設置が望ましく、傾斜(勾配)が大きい圃場には不適です。

【4 適応対象】

促成イチゴ産地の農業普及員、JA営農指導員、水質が悪く点滴かん水施肥栽培の導入が難しかった地域

【5 10aあたり導入コスト】

	高設架台	栽培槽	配管	液肥混入機	排水集水	培地・肥料	計
新システム	1,838	857	24	-	-	293	3,012
従来型システム	1,847	573	98	820	419	338	4,095

担当研究室 技術部 南部園芸研究室

〒029-2206 陸前高田市米崎町字川崎 101

TEL. 0192-55-3733 FAX. 0192-55-2093